

メールマジックライト 15の変更点

バッチデータ置き換え機能

テキスト、csvまたはエクセルファイルにあるデータを使って自動的にデータベースのデータを置き換えられます。例えば一つのファイルに元のメールアドレスと変更後のアドレスをまとめると、そのファイルを読み込むだけでデータベースにある元のアドレスデータが変更後のアドレスに置き換えられます。

グループにインポート

データファイルを読み込むときに、ダイアログの下にある「グループを指定」のプルダウンメニューからグループを選べます。すべてのインポートされるデータが自動的にそのグループに入ります。

Emlファイルの読み込み

Windows Mailなどのメールソフトで保存したemlファイルを読み込んで送信できます。読み込んだファイルはHTMLメールウィザードを使って編集できます。

データを読み込むときの空き列を防ぐ

データベースにデータを読み込む際、指定する読み込むフィールドの間にあるフィールドを無視して、空き列がないようにデータを読み込みます。

グラフィックのサイズ調整

HTMLメールウィザードでグラフィックを選ぶとグラフィックの大きさを調整できるダイアログが表示されます。

GMailのOAuthサポート

GMailの最新セキュリティ規準をサポートします。GMailのSMTPサーバーに簡単にログ

インできるようになりました。